



# 牧水をしのぶ

9月17日に牧水祭



ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ、秋もかすみのたなびきてをり……。

朗詠の流れるなか、若山牧水の命日に当る9月17日、牧水歌碑前で牧水祭が行われました。

当日は、遺族や牧水顕彰会などの関係者150人が参列し、みこ姿の坪谷中の生徒が歌碑に酒を注ぎありし日の牧水をしのびました。

この牧水祭が終ると、牧水の里も秋の深まりを見せはじめます。

ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ

秋もかすみのたなびきて居り

牧水

昭和60年 10月号 第410号

発行/宮崎県東郷町役場・編集/企画財政課

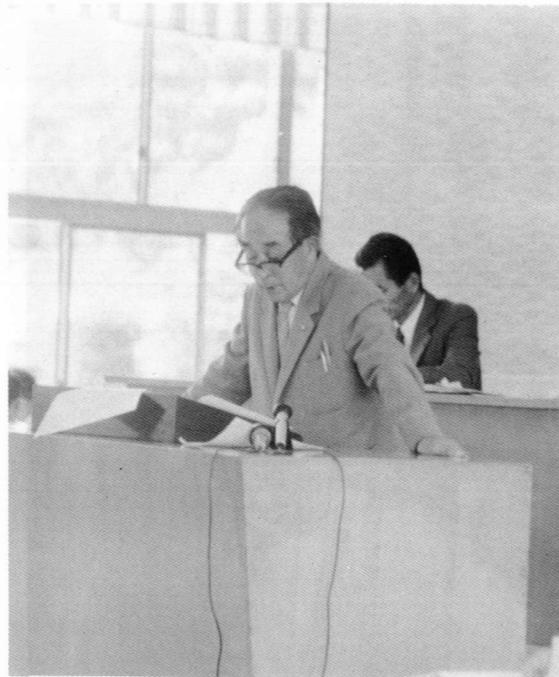
9月定例議会

新生東郷町のまちづくりを

6項目の柱を基本に

九月定例議会は、九月十四日招集され、二十四日まで六日間の日程で開かれました。開会初日に、町長の所信表明がなされ、今後の町政の執行についての基本方針を明らかにして議会の協力を要請しました。町長の所信表明の内容をご紹介します。

所信表明を述べる高森町長



私は、去る八月の臨時議会におきまして就任のあいさつを申し上げましたが、今ここに九月定例議会の開会にあたり、所信を述べ、今後の町政執行についての基本方針を明らかにして皆様方のご批判を仰ぎたいと存じます。

昭和六十年は、戦後四十年という一つの節目の年であり、我が東郷町にとりましては、郷土が生んだ全国的に有名な若山牧水の生誕百年を、町民みんなで祝う記念すべき年でもあります。

この記念すべき年に、町始まって以来初めての不幸な事件が起り、町長、町議会議員の同時出直し選挙が行われ、不肖私が町長の重責を担うことになりました。私は、まず全国から熱いまな

ざしを注がれている牧水生誕百年の式典と諸行事を滞りなく成功させることによって、東郷町が被った暗いイメージを払拭すると共に、清新にして活力に満ちた新生東郷町の創造に微力ではあります、全力を尽くさなければならぬと強く決意している次第です。

今日我が国は、深刻な財政危機に加えて、国際政治経済の面でも苦しい対応を迫られ、内外共に極めて多事多難であります。このような客観情勢を、正しく見極めながら、あるいは価値観の転換を志し、あるいは発想の転換に努めながら誠実に町政の執行に当たりたいと存じます。

私は選挙を通じて、四つの信条と六つの政策を行政の柱にすることを訴えてまいりましたが

これからは、誠心誠意、精いっぱい、この公約の実現に向けて努力していくことを議会の皆さま方の前にお誓い申し上げる次第であります。

一、政治倫理の確立

このことは今更何の説明を要しないことであり、ただ大事な事は言葉ではなく、その実践であると深く肝に銘じているところです。

二、財政の健全化

本町の昭和五十八年度の決算状況についてみると、経常収支比率で八五・四％、公債比率で十五・二％、更に債務負担を含めた公債費比率では二二％と、県内四十四市町村の中でも財政硬直化の度合が最下位にランクされている状態で、このままの財政運営を続けていると遠からず財政破たんをきたす恐れがあります。

昭和五十九年度以降、五ヶ年計画で策定された財政健全化の方針に従って、①自主財源の確保、②起債の抑制、③経常的経費の節減、④補助費の整理統合等の施策に重点をおかざるを得ないと思っております。

三、基幹産業の振興

……本町は総面積の八十七％が山林であり、就業人口の半分近くは農林業者であり、町内純生産物の三十％は山と田畑に依存している農山村であり、東郷町の基幹産業は、農林業に、畜産、養蚕、プロイラーなどを組み合わせた複合経営であることは昔も今も変わりありません。

しかし、都市近郊山村のため二次、三次産業への比重が高く、専業農家が減り、兼業農家が漸増する傾向にあります。生産性は低く、所得水準も低位にあります。今後は、立ち遅れた生産基盤の整備に重点を置いて、複合生産組織の育成に努め、地域の特性に応じた営農の方式を確立すると共に、集出荷体制を整備し中核的農家の育成と農用地の有効利用及び経営の合理化を図らねばならないと思っております。

また、水田利用再編対策の特定作物及び地域振興作物の開発と定着化を行うことにより、農業所得の増大を図り、快適な山村の生活環境を創り、若者が喜んで定着する魅力ある山村社会を構築すべく、住民の積極的参加を求める所存です。

〔林業〕 本町の人工林面積は一万ヘクタールを超え、それは幼令林が大部分であり、今後、保育除間伐等の育林に重点をおいた施策が必要であり引き続き新林業構造改善事業によって地域林業の組織化を基本理念として森林組合と一体となつて林道、作業道等の生産基盤整備に努めます。

特に、今年には林野庁の新規事業として、国産材供給施設が本町に設置されることにより、低迷を続けている林業に意欲と活力を取り戻す絶好の機会でありこの事業を積極的に推進します。

四、商工業振興と企業誘致

商工業の振興に必要なことは農家の購買力を引き上げる努力と共に、町内に男子雇用型の企業を誘致することにあり、今後も引き続き、その努力を続け

ます。しかし、オイルショック以後大きく変わった工業立地のパターンは県北地域にとつて、立地条件の劣位性をもたらした事を念頭において考えると、前記森林資源の素材生産から加工、流通の一貫した工程を生産者と業者が一体となった企業体は、まさに高度成長時代には考えられ

なかつた発想の転換であり、この事業を成功させる行政努力をしなければなりません。

五、教育と福祉

本町に於ては、歴代の町長、教育委員会の努力により、農林業の基盤整備の立遅れとは対照的に、教育施設はブールを除いて概ね整備が済んでいると思われ

ます。しかし、そのような外的条件の豊かさの中にあつて、昔には想像もできなかったような青少年非行の問題が頻発していることはご承知のとおりです。幸いにして本町に於ては、そのような不祥事件は起つていませんが農山村の都市化が進むに伴つてそのような事件が起り得る危険性は、いつも存在すると思わな

いわけにはまいりません……。青少年健全育成の問題は、単に非行防止といったような対症療法に終ることなく、義務教育以前の家庭教育、幼児教育を含めた生涯教育の観点に立つて考えねばならない問題であり、学校教育と車の両輪のような関係における社会教育が重視されねばなりません。次に福祉の問題であります

が、福祉社会の実現は行政の最終目的とも言えるほど大きな問題です。本町には、老人福祉館と老人ホーム、それに民間経営の特別養護老人ホームがあり、高齢者の福祉施設は概ね整つていますが、今後は、在宅老人のケアと母子家庭、身障者の方々に對するきめこまかな配慮が必要にならうと思つて

本町は、県内でも高齢人口の多い町であり、全国平均よりも二十年以上早いテンポで高齢化社会を迎えると指摘されています。

このことを考えますと、福祉社会の実現は、ただ単に行政依存の福祉施設から一歩進めて家庭生活及び近隣社会の隣人愛と善意による相互扶助の高い連帯感によって成立した高質な社会を創り上げることが、真の福祉社会の実現であると思つて

六、新ひむかづくり運動の推進

「何でも挑戦」「みんなが参加」の新ひむかづくり運動は、そのまま「新ふるさとづくり」の新生東郷町のための基本理念とその基を一つにしています。

つまり、自分達の地域は自分で築きあげようという町民一人ひとりが強い自覚を持ち、地域が一体となって立ち上がることをねらいとした運動です……。

活力に満ちた豊かな郷土づくりは、「何をしてもらえるか」ではなく、「自分達は何をすべきか」と、いったような積極的なものであることが期待されます。高度経済成長期の「物の豊かさ」から「心の豊かさ」に価値観の転換を図つたうえで、改めて郷土を見直し、ふるさとを再発見するときに、私達の足元には土があり、歌人牧水を育てた美しい自然があります。

近年、森林浴という言葉が言われ始めたほど人間の健康生活に欠くことのできない、森林のしたたる緑があり、新鮮な空気があります。この生活環境に恵まれた東郷町は全町公園と言つてもよいと思つて

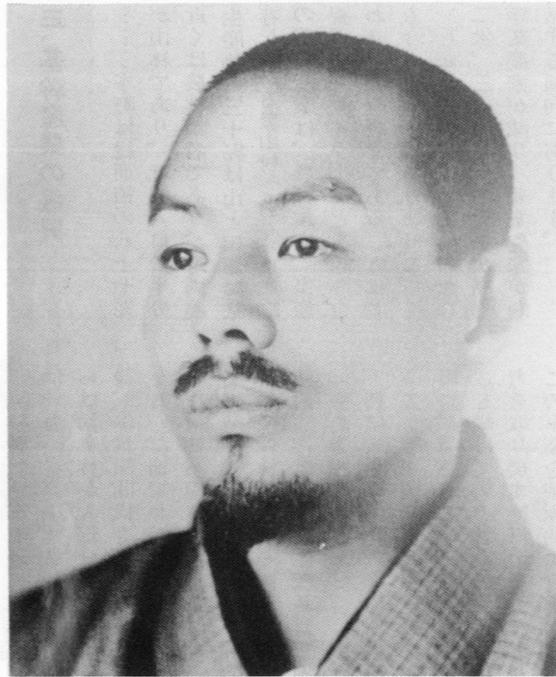
「若い人には憩いと充実を」、「働く人には生甲斐と張り合いを」、「青少年には希望と活力を、そして未来を」、そんな東郷町の実現を目指して精いっぱい努力をしたいと存じます。

以上、私の町政担当に対する所信を述べてまして皆さま方のご批判を仰ぐと共に、今後のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



# 牧水生誕百年を みんなで 祝おう

牧水生誕百年祭記念行事実行委員会(東郷町・日向市・延岡市)では、10月22日から25日まで各市町で生誕百年を祝う記念行事を行うことにしています。  
牧水生誕百年をみんなで祝いましょう。  
行事内容は次のとおりです。



## 牧水生誕百年祭記念行事日程

| 月日     | 時         | 行事内容               | 場所             |
|--------|-----------|--------------------|----------------|
| 10月22日 | 12時       | 炬火リレー              | 牧水生家～日向市～延岡高校  |
| "      | 18時～19時   | 提灯行列               | 延岡高校、延岡駅～野口記念館 |
| "      | 19時       | 講演(大悟法利雄氏)及び牧水歌発表会 | 野口記念館          |
| 10月23日 | 9時～10時30分 | 講演会<高校生対象>(若山旅人氏)  | 延岡高校           |
| 10月24日 | 9時30分     | 生誕式典               | 牧水生家、記念館前      |
| "      | 10時50分    | 牧水歌碑除幕式            | 坪谷小学校          |
| "      | 12時10分    | 牧水歌碑除幕式            | 東郷町役場前         |
| "      | 13時50分    | 短歌入選者表彰式           | 東郷町中央公民館       |
| "      | 14時40分    | 講演会(若山旅人氏)         | "              |
| "      | 19時       | 講演会(大悟法利雄氏)と映画の夕べ  | 日向市中央公民館       |
| 10月25日 | 8時30分     | 牧水歌碑除幕式            | 日向市米の山         |

### 昭和六十年 町文化祭作品募集

牧水生誕百年祭を祝うとともに、東郷町の文化水準の向上を図ることを目的として、次のとおり作品を募集します。多数の出品を。

▽期日 11月9日～10日  
▽場所 中央公民館ほか

▽作品  
○絵画・水墨画  
サイズ、題とも自由  
○書道  
題―①牧水短歌、②自由作

○写真  
題―自由(なるべく牧水に由来する内容を)

○サイズ―四ツ切以上  
○華道・盆栽

▽出品資格  
○町内在住者  
○町内企業就業者  
○町文化協会会員

▽受付  
寒蘭は11月9日8時30分から10時まで役場二階、それ以外は11月8日8時30分から12時まで中央公民館



▲玄関前に建立された牧水歌碑

「わか竹の  
伸びゆくごとく子どもらよ  
眞すぐののばせ身をたましひを」

### 先生が歌碑を贈る―坪谷中

九月七日、坪谷中学校前に牧水歌碑が建立され、学校関係者など約三十人が出席し除幕式が行われました。  
この歌碑は、建設に必要な資金を坪谷中の先生方が出し合

P T Aの奉仕作業等によって建てられました。  
坪谷中は、県文化財愛護少年団に加入し、県文化財の指定を受けている牧水生家や牧水記念館周辺の清掃を毎月一回行っ

おり、また今年には牧水生誕百年にあたるため、先生方が記念にとこの歌碑を生徒に贈ったものです。

歌碑に刻む歌については、生徒が選んだ中から更に先生方が選び、先生が生徒を思う心に基づき、先生がこの歌が選ばれました。この歌碑を贈ってくださいました先生方の意を無にしないよう真直ぐに成長して欲しいものです。

## 行政相談委員は みなさんの身近な相談役 秋の行政相談週間

十月十三日から十九日までの一週間は「秋の行政相談週間」。国の仕事によって不利益を被った、役所の事務処理が間違っていると思うが……など。このような行政に対する苦情や疑問が生じたとき、たいへん心強い味方になってくれるのが「行政相談委員」です。

委員は、国の行政に関する相談を受けると、必要な助言をしたり、関係行政機関に対し、適切な処置をうながしたりして、みなさんの相談を一つひとつ解決していきます。  
「行政相談委員」は、「行政相談委員法」という法律に基づいて、総務庁長官から委嘱されているものです。  
現在、全国に四千七百八十九人の委員がいますが、町内では仲深の山口俊一さんがみなさんの身近な相談役として活動しています。

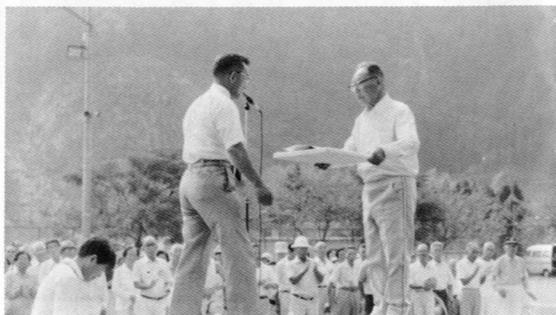
### 安心して相談できる 行政相談委員

行政相談委員は、公平性や中立性を確保するために、法律によって、①守秘義務、②政治的中立、③業務の公平な遂行が義務づけられていますので安心してご相談ください。  
行政相談を申し出る場合は、直接委員の所に出向かれても、電話で問い合わせでも結構です。また、行政相談週間期間中に定例相談と合わせて巡回相談が実施されますのでご利用ください。

〔行政相談委員〕  
山口俊一：仲深区  
☎六九一七六五五

### 道路の美化運動で表彰

#### 町老人クラブ連合会



町老人クラブ連合会は、道路の美化運動の実績が認められ、宮崎県道路利用者協議会から表彰を受け、九月十三日に老人クラブ連合会長の都甲鶴男さんに賞状が伝達されました。  
老人クラブ連合会では、活動方針として道路の美化運動を掲げており、各地区の老人クラブが早朝に県道や町道の空かんやゴミなどを拾って美化運動を進めており、今後も美しい道路にしようと張り切っています。

点描 (49)

山陰百姓一揆はなぜ起きたか(二)

(訴えごとその一)
年貢の取立ては春にきめられ
ることになってきたが、その年
の風水害によって今一度秋に検
討し直すことになってきた。
ところが元禄二年より大風水
害が三ヶ年も続いて、田畑の作
物は皆無に近かったのです。そ
こで当然秋になって年貢取立て
の見直しがあるはずであるのに、
郡代官や代官は情容赦もあらば
こそ、見直しどころか、風水害
のこと等全くおかまいなし、平
年作並みの取立てを命じたので
す。百姓達は打続く不作に困り
果て他村にゆき金を借りたり、
品物を金に代えたりして年貢を
納めたのです。
そればかりか秋になると稲が
まだ充分実らないうちに刈りあ
げさせて上納させ、百姓達には
全く作物を渡さない仕打ちもし
たのです。

代官達はおかまいなし。あたり
前の年貢を命じたのです。新し
い田畑であるので収かくは当然
低いことは分っている。全く非
道苛政とはこのことである。

(その三)
一年間の米の収かくが十石あ
る百姓は、ゴマ二畝、エゴマ二
百本、唐ゴマ五十本、菜種五畝
の植付けが命ぜられました。エ
ゴマを除いては皆肥えた地でな
ければできない作物ばかりです。
これ等の栽培のため他の作物は
後廻しにしなければならぬ。
その上役人が毎日の様に村廻り
をして、肥料のやり方まで干渉
し言いつけに従わない時は、科
料金(罰金)をとられたのです。
そしてその品々は田植への忙し
い時でも収かく次第直ちに上納
しなければならぬ。一日でも
おけると、又科料金をとられ
るのです。

延岡城下まで米四、五斗上納
するの、人馬で四、五日の往
復日数がかかったのです。その
間の費用は皆自弁でありました。

(その四)
一竈(かまど)について杉百本、楮五十
本、椿三十本、ウルシ十本、桑
十本、栗十本、シロ十本、ク
サギ十本の植樹命令も出され、
特に楮は毎年五十本づつ植付け
るよとのことでした。そんな
に命令されても植付ける土地が
無く、植付けた木の間にはしか植
えられず、日の当たらない状態
でありました。楮皮を上納すれば
蒸し方が足りないとか、皮が薄
いとかで下級品扱いとなり、代
金はわずかししか認められなかつ
た。

東郷町文化協会長
都 甲 鶴 男



町では、農協、農業改良普及
所と一体となって、「活力ある
農業」をめざして、基盤整備され
た水田の有効利用を図るため、
小麦・夏秋ピーマン・ハウスレ
ットなど八品目を重点作物とし
て選定し、生産をすすめるこ
とにいたしました。
今回は特に、小麦の作付時期
とピーマンの育苗時期が近づく
水田転作野菜として作付けさ
れたピーマン(田野)

「夏秋ピーマン」と
「アサカゼコムギ」を
作りませんか

たので、重点地区を設定して、
「アサカゼコムギ」と「夏秋ピ
ーマン」の作付けを推進するこ
とにしました。

アサカゼコムギは、多くの収
穫量を得ることができ、品質面
で国内麦が適するめん類の需要
があり、販売上の問題も少ない
ということを生産をすすめるこ
とになりました。

小麦のメリットとしては
へ麦の政府買入価格

Table with 6 columns: 区分, 小麦(60kg当り), はだか麦(60kg当り), 大麦(50kg当り), and 2 sub-columns for each crop (1等, 2等). Rows show data for years 58, 59, and 60.

第25回 10月20日 町民体育大会
なんでも挑戦、みんなが参加
(雨天の場合は10月27日)

続・牧水と坪谷 ③

塩月 儀市

当時蘭学または洋医学を修め
たと云へばかなりに大したもの
であったに相違ないが、それが
どうして日向の様な田舎へ引き
籠ったか不思議である。当人の
言ふところによると江戸に帰る
途中、難船して日向の地に吹き
着けられたといふのであるが、
これは無論嘘である。おもふに
何かさうした人に知られぬ山の
中へ隠れ度いか又は隠ねばなら
ぬ必要か、あつて引込んだもの
に相違ない。彼は日向に居着い
てからも一度も郷里へ帰らなかつ
たばかりでなく、音信すら為
さなかつた。西南の役の時、川
越藩から出て来た官軍の一隊が
恰度私の村へ来て泊る事になり
それで漸く郷里との消息が通ず
る様になったのださうである。

り込んで私の故郷である坪谷村
に來り、土地の旧家で酒造家を
していた奈須家の女を娶り、其
処に居を定めた。彼は頗る殖産
の道にたけていた。医業のほか
出来るだけ広大に山林や田畑を
買ひ且つ墾き、来て幾年も経た
ぬうちに其処における有数の財
産家になりおほせた。そして一
方では非常に文学を愛したらし
い。幼い時の私の矜の一つであ
つたが、二階には十数個の大き
な書籍箱が並び、それにはみな
漢籍が満たされていた。蘭語の
書籍も混つていて、これなどは
今でも保つてあるかと思ふが、
その辞書などは厚さ二寸位の細
かく和筆で洋文字が筆写されて
いる。これは彼の肥前時代の苦
学の遺品なのである。この辞書
が二冊続きになっていた。漢文
は余程好きであつたと見えて、
一寸他出する時でも必ず一二冊
のそれを携へていた相だ。そし
て晩年には村の気の利いた青年
たちを集めて自らその講義をし
ていた。

(つづく)

畜産共進会で
優等の首席に

山元ユキエさん(越表)の育てた種豚が、
9月に行われた東臼杵郡市畜産共進会にお
いて種豚の部で優等の首席に選ばれ、10月
に小林市で行われる県畜産共進会に出品す
ることになりました。



頑張りましょう

県青年大会で初優勝
青年ソフトボールチーム

9月に宮崎市で行われた県青年大会で、
本町女子青年ソフトボールチームが初優勝
し、11月に東京で行われる全国青年大会に
出場することになりました。





行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄・新電々などの仕事、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅でも遠慮なくご相談ください。

① 定例相談

- ▽日時 10月15日 9時～15時
- ▽場所 老人福祉館
- ② 巡回相談
- ▽日時 10月16日 10時～13時
- ▽場所 下渡川公民館

東郷町仲深  
行政相談委員 山口俊一

心配ごと相談

次のとおり心配ごと相談が実施されます。心配ごと・悩みごとなどどんなことでも遠慮なくご相談ください。

なお、各地区の相談員（民生委員）による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

- ▽日時 10月15日 9時～15時
- ▽場所 老人福祉館

乳児健康相談

- ▽期日 10月15日
- ▽受付 9時30分～10時30分
- ▽場所 町中央公民館
- ▽対象 乳幼児（3・6・12ヶ月児）
- ▽内容 身体計測、育児、離乳食指導ほか

母親学級

- ▽期日 10月22日
- ▽受付 8時30分～10時
- ▽場所 町中央公民館
- ▽対象 妊婦（妊娠5ヶ月～7ヶ月の人）
- ▽内容 助産婦診察、検尿、栄養士による離乳食指導ほか

一般健康相談

- ▽期日 10月19日
- ▽受付 9時～10時
- ▽場所 老人福祉館

- ▽対象 四十歳以上（それ以外でも受けられます）
- ▽内容 検尿、血圧測定、保健指導ほか

秋期ポリオ

生ワクチン接種

- ▽該当者 生後3ヶ月～18ヶ月児（生後18ヶ月以上～48ヶ月未満で、合計2回の接種を受けていない者も含む）
- ▽受診上の注意
- すでに2回受けていれば必要ありません。
- ポリオ生ワクチンは、4歳を過ぎると受けられません。
- 母子手帳を持参ください。

▽日程

| 該当区         | 日時                | 場所     |
|-------------|-------------------|--------|
| 寺迫          | 10月17日<br>14時～20分 | 寺迫 公民館 |
| 仲深          | 10月18日            |        |
| 坪谷          | 13時40分            | 坪谷 保育所 |
| 越表          | ～14時              |        |
| 下渡川         |                   |        |
| 前記以外<br>の各地 | 10月22日<br>14時～    | 中央 公民館 |
| 区           | 14時30分            |        |

福祉年金証書の

交付手続

福祉年金証書を、今年も8月に提出していただいておりますが、金額記入が終了しましたので、十月十八と十九日に福祉年金証書を交付します。

なお、受給者のみなさんには個人宛別途通知しますので、時間等を厳守して下さい。

今月の納税等

国民健康保険税五期  
町県民税三期

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

- ◎小野田の黒木里美さんから（稲田久次郎さん・84歳ご死去）
- ◎越表の河野益夫さんから（泰裕さん・16歳ご死去）

戸籍たより

八月届出分

出生おめでとう

| 赤ちゃんの名 | 父の名 | 住 所 |
|--------|-----|-----|
| 赤ちゃんの名 | 父の名 | 住 所 |
| 新保雄樹   | 昭彦  | 寺迫  |
| 矢野孔志   | 國明  | 坪谷  |
| 橋口和也   | 泉   | 小野田 |
| 黒木香    | 重行  | 寺迫  |
| 小林慎吾   | 幸則  | 小野田 |
| 田口由佳   | 峰男  | 迫野内 |

ご冥福を祈ります

| 氏 名   | 年 齢 | 住 所 |
|-------|-----|-----|
| 稲田久次郎 | 84  | 小野田 |
| 糸平筆助  | 91  | 鶴野内 |

まちのうごき

|    |             |
|----|-------------|
| 人口 | 6,358人 (+6) |
| 男  | 3,047人 (+2) |
| 女  | 3,311人 (+4) |
| 世帯 | 1,829戸 (-2) |

60年9月1日現在

( )は対前月比